

FUJIEDA ROTARY CLUB

# 藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040  
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail [club1972@fujieda-rotary.org](mailto:club1972@fujieda-rotary.org)



【ボケの花】

写真提供：事務局

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳

## 第1896回

<ソング> 四つのテスト  
<ソングリーダー> 小西啓一君



【2010-2011年度 RIテーマ】

地域を育み  
大陸をつなぐ

レイ・クリンギンズミス

### 会長報告

石垣 善康君

先週、藤枝市社会福祉協議会の評議員会に出席をしてまいりました。評議員会の内容については、改めて、会報にでも報告いたしたいと思います。本日は、社会福祉協議会に付いてご報告いたします。社会福祉法人で民間の福祉団体です。

運営は、市民の皆様より一世帯400円、その他団体会費、寄付そして、藤枝市より、事務職員給与の助成、活動費の助成で運営されています。

藤枝ロータリークラブは、負担していません。以前、切手や使用済みテレカを寄付した年が数年あり、それ以来評議員とのことでした。

活動のテーマは、地域の住民が主体となって明るくすまよい社会をつくることを目的としています。活動実態は、児童から高齢者まで幅広い年代にたいしての福祉事業です。

児童 = 放課後の児童クラブへの指導員の派遣

障害者 = 広報ふじえだや市議会だよりの点字版の作成、配布、車いすの貸し出しなどです。

高齢者 = ホームヘルパーサービスやデイサービス、入浴サービス。認知症相談などです。

毎日、電話相談を開設しており、まず相談してもらう。そしてその後のケア施設や、市役所の窓口を紹介する活動です。

又、一人暮らしの高齢者や、高齢ご夫妻に対しての、対策活動も計画中です。

その他、赤い羽根共同募金活動も大きな活動の一つとなっています。

また、今回の大震災等で活躍している、災害時ボランティアコーディネーターの育成講座も行って

います。

今後、藤枝ロータリークラブに対しての希望をお聞きしてきました。それは、福祉、奉仕活動を共同で行いたいとの事でした。

今後の皆様に、お願いいたします。

### 幹事報告

酒向 謙次君

- ガバナー事務所より、「ニュージーランド地震災害義援金の報告」と「東日本大震災被災地区に対する義援金のお礼とお願い」が届いております。
- ガバナー事務所より、2/14にご案内しました「第3回日台ロータリー親善会議」開催中止の連絡が届いております。
- ガバナー事務所より、地区協議会開催時間変更のご連絡が届いております。
- ガバナー事務所より、ロータリー第2620地区2010-2011年地区大会記録誌並びに記念DVDが届いております。(DVDは事務局にて保管しております)
- ロータリーの友から、震災の影響による発送の遅れに関するお願いが届いております。
- 被災地第2520地区(岩手・宮城)の檜山ガバナーより、シェルター設置の活動が掲載された新聞のご案内が届いております。
- 焼津RCより、「創立50周年記念例会開催日延期」のお知らせが届いております。6/16(木)に延期が決定されました。
- (財)ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライト米山号外」が届いております。
- (財)米山梅吉記念館より、館報17号が届いております。

- 藤枝市国際友好協会より、「FIFS NEWS」が届いております。

### 出席報告

竹田 勲君

|                  |                |
|------------------|----------------|
| 本日のホームクラブ<br>出席者 | 前回の補正出席者       |
| 28 / 41 68.29%   | 29 / 42 70.73% |

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

池谷君 池ノ谷君 後藤君 酒井君  
鈴木邦君 玉木君 仲田廣君 江崎晴君  
板倉君 鈴木舜君 仲田晃君 水野君 山田君

### スマイルBOX

竹田 勲君

- 静岡県茶商工業協同組合副理事長に3 / 18の役員会で決定し、勤めさせていただくことになりました。

松葉 隆夫君

スマイル累計額 541,500円

### 会員卓話

鈴木 廣利君



「鉄道こぼれ話」から新幹線の巻

S . 17年に弾丸列車構想が策定されたが敗戦により立消えた。その案を基本にして東海道新幹線路線は作られた。開業時の駅数は東京、新横浜、小田原、熱海、静岡、浜松、豊橋、名古屋、岐阜羽島、米原、京都、新大阪の12駅、後に4年後に三島、8年後には新富士、掛川、三河安城が加わり、平成になって品川駅が出来て現在では17駅になった。

「ひかり」「こだま」の名称はわずか17日間の募集で56万通の応募があり、1位が「ひかり」「こだま」は10位であったが、東海道線最後の特急だった事で採用になった。他に応募の多かったものは2位に、はやぶさ3位いなづま4位はやて、その他富士、流星、あかつき、さくら等があった。

レールの巾は1,435mm(在来線は1,067mm)

電圧25,000V直流(在来線は600V)その他丹那トンネル、日本坂トンネルの話、夜行新幹線、駅間距離、新幹線のレール上を阪急電鉄が走った話等々。

鈴木 勝弘君



去る3月11日に発生しました大地震の影響で東京電力の福島第一、第二原子力発電所が甚大な被害を受け、その状況が毎日報道されています。被害の全容は明らかではありませんが、現時点で把握できる内容に基づき、弊社の浜岡原子力発電所で対策を講じておりますのでその内容をご説明します。

福島原子力発電所においては、地震を感知し原子力発電所の安全対策の基本である原子炉を緊急停止するという機能は正常に動作しました。しかし、想定を超える津波により原子炉を冷やすための除熱系設備の電源が喪失し、さらには、放射性物質を閉じ込める最後の壁である原子炉建屋が水素爆発で損傷しました。特に、除熱系設備は幾つかのバックアップがありますが、津波による外部電源の喪失、非常用ディーゼル発電機の故障、さらには原子炉隔離冷却系ポンプの制御用のバッテリーが外部電源による充電が行なわれず脱落しました。また、屋外に設置されている海水ポンプも津波の被害を受けました。

このように今回の事象の大きな原因は津波です。浜岡においては津波の大きさを8mと想定しています。これは、1854年の安政東海地震で敷地に最も影響を与えた6mの津波に不確かさを考慮したものです。この8mの津波に対する安全性は、海岸線に位置する「砂丘」で評価しています。この砂丘は、消波ブロックや植栽などで、高さも幅もある堤防の役目をしており、8mの津波を防護

